

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

型名	小型卓上丸ノコ STC-190		※お買い上げ日	保証期間
			年 月 日	1年
※お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電 話	()		
※販売店	住 所 店 名	☎ ()		

(注)※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、引越、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - (ニ) 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談ください。
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。

お客様
相談窓口

商品・修理品についてのお問い合わせは…

☎ 03-3252-8861

修理品の送り先…

〒340-0002 埼玉県草加市青柳6-30-9

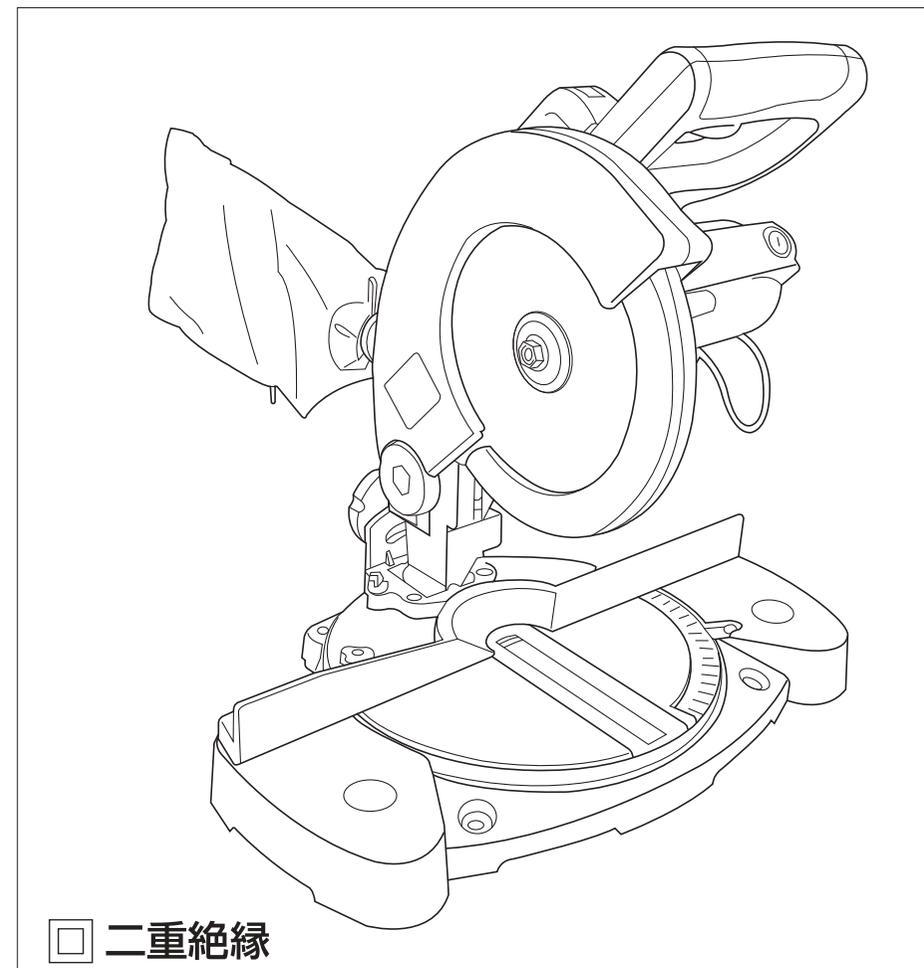
株式会社 新興製作所 埼玉工場

TEL:048-931-4151

SHINKO 株式会社 新興製作所

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600

小型卓上丸ノコ STC-190 取扱説明書



このたびは小型卓上丸ノコをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保存してください。

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「⚠警告」を必ず守って下さい。
 - ご使用前に、この「⚠警告」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。
 - お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管して下さい。
- 国本文は共通事項であり、製品により合致しないことがあります。

⚠ 警告

1.作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
- 作業中、本工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
- 作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

2.作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
- ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
- 暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
- 可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業員以外には近づけないで下さい。又、作業員以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
- 作業場の近くに作業員以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気の多い場所では使用しないで下さい。
- 感電の恐れがあり大変危険です。

⚠ 警告

3.電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
- 表示を越える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認下さい。2重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

4.取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切ってください。
- スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼して下さい。
- ネジがゆるんでいたたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の作業のときは開始前に1分以上回転させてください。
- 試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
- 規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いてください。
- スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
- 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意してください。
- コードが損傷しますと大変危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
- 工具(スパナ、ネジ回し等)は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
- 工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
- 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないでください。
- 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5. 手入と保管について

- 常に本機の手入れに心がけ、長期間安全にご使用ください。
- 使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用ください。
- 切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モートルに負荷が多くかかり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
- 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付けください。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。

☞前記は電動工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないところがあります。

小型卓上丸ノコ使用上のご注意

- 先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、小型卓上丸ノコについて、さらに次に述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- 本機が輸送途中において衝撃等により接続金具がはずれたり、破損することがあります。使用前に必ず各部を確認してください。破損したままご使用になりますと、思わぬ事故の原因になります。
- 使用前に電源コード、差し込みプラグを点検してください。電源コード、差し込みプラグを傷んだまま使用しますと、火傷、感電、火災の恐れがあり危険です。
- 使用電源は、銘板に表示してあるAC100Vの電圧でご使用下さい。表示を超える電源に接続しますと、モーターの回転が異常に高くなり、本機が破損する恐れがあり危険です。
- 差し込みプラグを電源に差しこむ前に、スイッチが切れていることを確認してください。また、使用後はスイッチが切れていることを確認し、プラグを電源から抜いてください。
- 本機を雨中や湿気の多いところで使用または放置しないでください。また、ぬれた手で差し込みプラグに触れないで下さい。感電の恐れがあり危険です。
- ノコ刃は、取扱説明書に表示してある外径190mm×内径20mmのノコ刃を使用してください。ケガの原因になります。
- スイッチを入れる前に、ノコ刃のヒビ割れ、刃先の欠け、欠落などないか確認をしてください。万一破損など発見したら危険ですので新しいノコ刃と交換してご使用ください。
- ご使用前に必ず試運転をしてください。ノコ刃を交換した時は3分以上、通常の作業開始前は1分程度の試運転を心がけてください。
- 高所作業の時は、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。材料や本機を落とすとき事故の原因になります。
- 安全カバーは、必ず取付けてスムーズに動くことを確認してご使用下さい。また、絶対に固定しないでください。カバーを外してご使用になりますと、思わぬ事故の原因になります。
- 切断する材料が小さいもの、又、切り落とし側を薄く切断することなどは大変危険です。このような切断加工は、絶対しないでください。
- 切断しようとする材料の上にコードを乗せたまま作業しないでください。コードを切断し感電の恐れがあり危険です。
- 切断途中で、ノコ刃を回転させたままターンテーブルを回さないでください。強い反発力が生じ、けがの原因になります。このようなときは、スイッチを切り、回転の停止を確認してから回してください。
- 回転中はノコ刃に手を触れないで下さい。また、顔など近づけないでください。ノコ刃は高速で回転をしていますので大変危険です。
- ノコ刃の交換をするときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いて交換をしてください。不意の起動により、思わぬ事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所では絶対に使用しないで下さい。可燃物の近くで使用しますと、引火、爆発の危険があります。
- 使用中、本機の異常に気づいたときは直ちにスイッチを切り、プラグを電源から抜いてお買い上げの販売店、または弊社にご連絡ください。(または修理に出してください。)

⚠ 注意

- 本機ブレードケースの回転方向矢印と、ノコ刃の回転方向矢印を合せて取付けて下さい。回転方向が一致しないと、刃先を傷めるだけでなくけがの原因になります。
- ノコ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。取付けが確実でないと外れてけがの原因になります。
- 切断する材料は、**確実に固定**してください。確実な固定をしないと思わぬ事故の原因となります。
- 長い材料の切断では、テーブルと同じ高さに合わせた**安定性のよい台**をもうけてください。このような台がないとけがの原因になります。
- **切断トイシ**を取り付けて使用しないでください。高速回転でトイシの破損の恐れがあります。
- 使用中は、**本機のハンドルを確実に保持**してください。確実に保持していないと本機が振れ、けがの原因になります。
- 傾斜のない**平たんな場所**に据え付けて、安定した状態で作業してください。不安定な状態で作業をしますと、けがの原因になります。
- 使用中は、**だぶついた衣服やネクタイ・手袋**などを着用しないでください。回転部に巻き込まれ、思わぬけがの原因になります。
- 切断する**材料の下に障害物**がないことを確認してください。強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- 切断する材料に**釘などの異物**がないことを確認してください。刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
- 本機は、スイッチを切ってもノコ刃の**回転はすぐに止まりません**。持ち運びでは回転の停止を確認してください。
- 作業者以外は、本機の周りに**近付けない**でください。思わぬ事故の原因になります。
- 作業者は、**長袖、長ズボン、保護メガネ、マスク**等を必ず身につけてください。

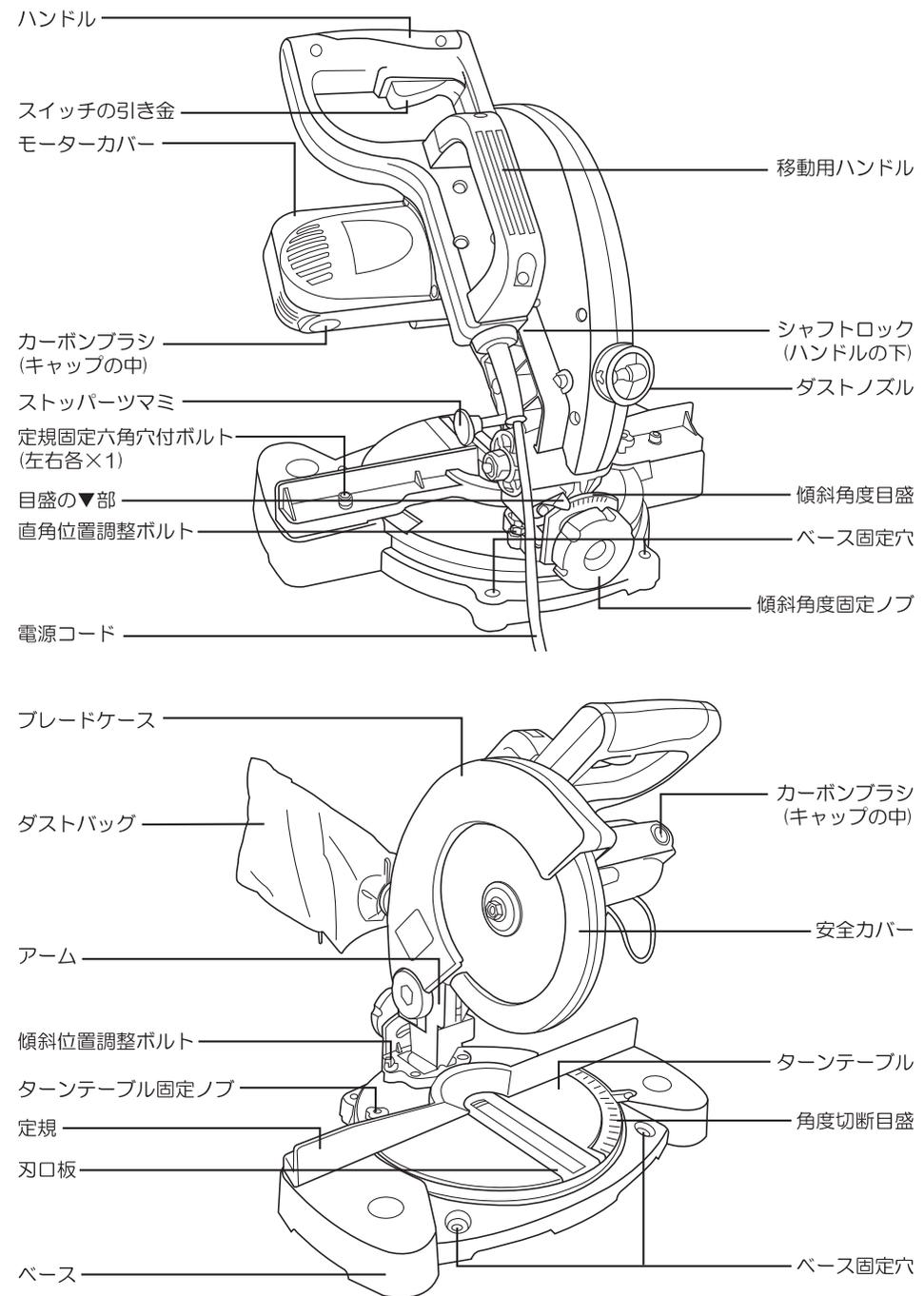
延長コードについて

- 電源が離れていて延長コードが必要なときは、最高の能率でご使用いただくために、十分な太さのコードを、できるだけ短くご使用ください。
- コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの関係（ご参考）

コードの太さ（導体公称断面積）	延長コードの長さ
1.25 mm ²	15 m
2.0 mm ²	20 m

☑ドラム式の延長コードをご使用の場合は、使用中の発熱などによる電圧降下を防止するため、コードはすべて引き出してご使用ください。

部品の名称



仕様明細

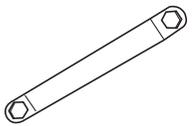
型 式	STC-190		
電 圧	AC100V		
周 波 数	50/60Hz		
消 費 電 流	6.2A		
消 費 電 力	600W		
回 転 数	4,500min ⁻¹		
電 源 コード	1.8m		
刃物寸法(付属品)	外径190mm×内径20mm×刃数72P		
使用できる刃物の外径	190mm		
切 断 能 力 (高さ×幅)	ノコ刃傾斜角度 ターンのベースの回転	ノコ刃傾斜0度(直角)	ノコ刃傾斜左45度
	0度(直角)	45×85mm (55×55)	23×88mm (33×50)
	左45度	34×65mm (44×55)	19×40mm
	右45度	30×65mm (47×47)	19×80mm (38×55)
ターンテーブル回転角度範囲	左45度～0度～右45度		
ノコ刃傾斜角度範囲	左45度～0度		
機 体 寸 法	奥行360mm×幅395mm×高395mm		
質 量	本体5Kg		
絶 縁	回 二重絶縁		
定 格 時 間	30分		

※本機は改良のため予告なしに仕様を変更することがあります。
 ※ツーバイフォー木材(38×89mm)は切断可能です。(直角のみ)

用途

- 木材の切断(※本機は精度を要する切断には使用できません。)

付属品の明細

チップソー(本機に取付) (外径190×内径20mm)	ダストバッグ	スパナ	六角レンチ
			4mm  5mm 

ご使用前の準備

⚠ 警告

- 各種の作業時は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。不意の起動により思わぬ事故の原因になります。

■ハンドル固定の解除(図1参照)

- 出荷時には、ストップパーツマミを押し込みハンドルを固定してあります。
- ハンドルを押さえてストップパーツマミを引き出すと、ハンドルの固定は解除されます。
- 持ち運び、保管の時はハンドルを固定してください。

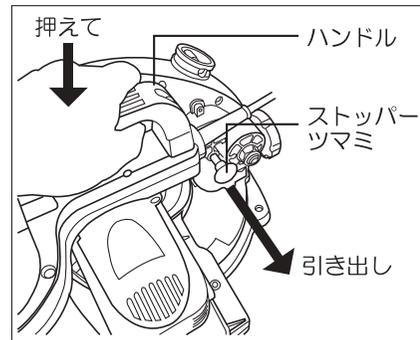


図1

■ベースの固定(図2参照)

- 本機を作業台に固定するときは、ベース固定用の穴を使用します。
 - ベース4カ所の穴を8mmのボルト、ワッシャ(各市販品)で固定してください。
- 図ベース後方(アーム側)の穴は、ゴム脚を外さずにドリル(市販品)等で貫通させてご使用ください。

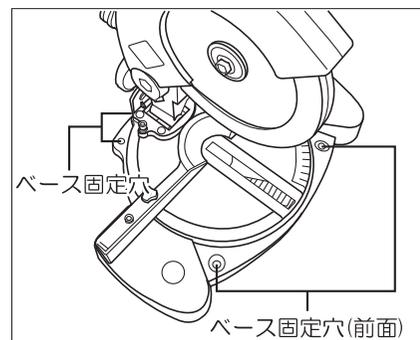


図2

■ダストバックの取付け(図3参照)

- ダストバックを本機のノズルに差込んでください。
 - 差込み、引き抜きは、ダストバックの口元の蝶握りを指で挟むと口元が開き、離すと狭まります。
 - バックの口元を開きノズルに差込んで取付けてください。
 - ダストバックにたまったダストは、早めに捨ててください。
 - ダストを捨てるときは、ダストバックのファスナーを引き、中のダストを捨ててください。
- 図本機は、自力でダストをダストノズルより排出することはできません。

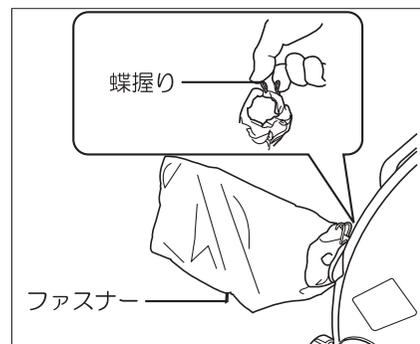


図3

■ノコ刃の交換方法

⚠ 警告

- ノコ刃の交換では、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。不意の起動により思わぬ事故の原因になります。
- 本機ブレードケースの回転方向矢印と、ノコ刃の回転方向矢印を合せて取付けて下さい。回転方向が一致しないと、刃先を傷めるだけでなくけがの原因になります。
- ノコ刃は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。取付けが確実でないと外れてけがの原因になります。

●ノコ刃の取外し方法

- ①ハンドルを押さえてストッパーツマミを引き出し、ハンドルが上がった位置にしてください。
- ②アームの下にある安全カバー作動ステーの取付け六角穴付ネジを、付属の六角レンチ(3mm)で外してください。(図4参照)
- Ⓜ六角穴付ネジを抜き取るとハンドルが上方向に全開しますので、ハンドルを押さえて飛び上がらないように注意して六角穴付ネジを抜き取ってください。(図5参照)
- ③安全カバーをブレードケース側に回し上げてください。
- ④シャフトロックを押さえながらノコ刃固定六角ボルトに付属のスパナを掛け、ゆっくり回すとシャフトがロックされます。
- ⑤ボルトは逆ネジ(左ネジ)です。時計回りに回して抜き取り、外フランジ、ノコ刃の順に外してください。(図6参照)

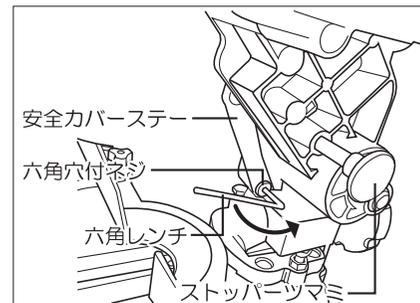


図4

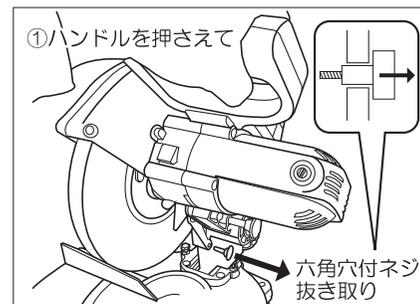


図5

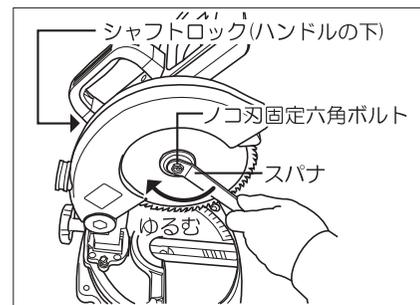


図6

●ノコ刃の取付け方法

- ①ノコ刃の取付けは、取外しと同じ要領で安全カバーをブレードケース側に回し上げてください。
- ②ノコ刃取付け軸に、内フランジ→ノコ刃→外フランジ→六角ボルト(左ネジ)の順に取付けてください。(図7参照)
- Ⓜブレードケースとノコ刃の回転方向が一致していることを確認してください。
- ③シャフトロックを押さえながらノコ刃固定ボルトに付属のスパナを掛け、ゆっくり回すとシャフトがロックされます。
- ④ボルトは逆ネジです。時計と逆回りに回わし確実に締め付けてください。(図8参照)
- ⑤安全カバーを下げてください。
- ⑥アームの下にある安全カバー作動ステーの取付けねじ穴に、ステーの取付け穴を合わせ、六角穴付ネジを差込み付属の六角レンチ(3mm)で確実に締め付けてください。(図9参照)
- Ⓜ六角穴付ネジに段が付いています。段の部分をステーの穴に収まるようにして締め付けてください。
- Ⓜハンドルを下げて、安全カバーが正常に作動することを確認してください。

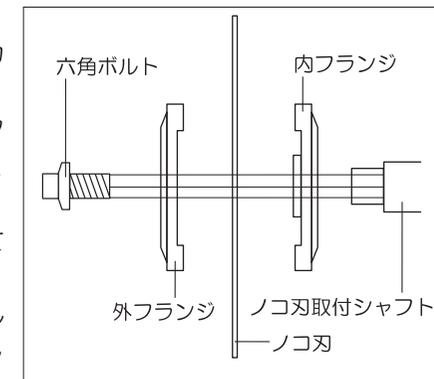


図7

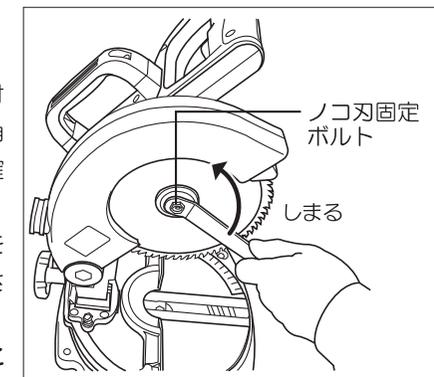


図8

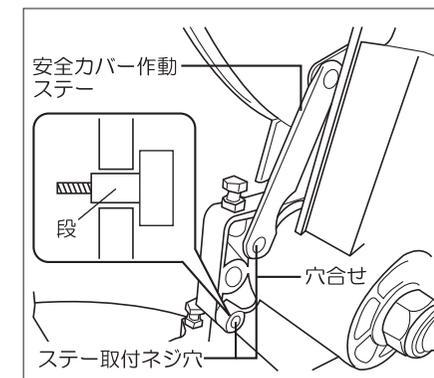


図9

ご使用方法

■スイッチの操作について

⚠ 警告

- 使用電源は、銘板に表示してあるAC100Vの電圧でご使用下さい。表示を超える電源に接続しますと、モーターの回転が異常に高くなり、本機が破損する恐れがあります。
- 差込みプラグを電源に差しこむ前に、**スイッチが切れていることを確認してください。**不意の起動により思わぬ事故の原因になります。

- スイッチは、スイッチの引き金を引けば入り、離すと切れます。(図10参照)
- ☑スイッチをテープなどで固定して使用しないでください

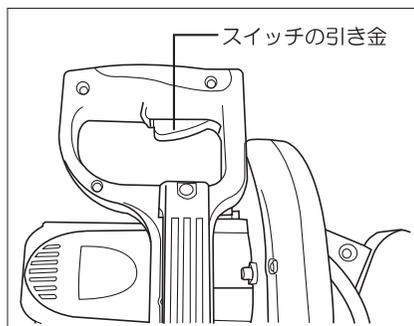


図10

切断方法

⚠ 警告

- 無理にハンドルを押さえたり、左右に強い力を加えないでください。本機に強い反発力が生じ、思わぬけがの原因になります。
- ノコ刃の停止を確認してからハンドルを持ち上げてください。切断精度が悪くなるだけでなく、思わぬけがの原因になります。
- ターンテーブル固定ノブをしっかりと締め付けてください。締め付けが不十分なときは、切断作業中にターンテーブルが動いて本機に強い反発が生じ、思わぬけがの原因になります。
- 切断する材料が小さいもの、又、切り落とし側を薄く切断することなどは大変危険です。このような切断加工は、絶対しないでください。
- 傾斜切断をした場合、切り落とし側の材料がノコ刃の上側にのる状態になります。ノコ刃を回転させたままハンドルを持ち上げると、切り落とし側の材料がノコ刃に巻き込まれ飛散する恐れがあります。必ずノコ刃の停止を確認してから、ハンドルを持ち上げてください。

※本機は精度を要する切断には使用できません。

■切断作業

- 材料を定規とターンテーブルに密着させ、切断作業中に材料が振り回されないように、確実に固定してください。(図11参照)

☑市販品の固定用の道具などを用いて、確実に固定してください。

☑作業前に、固定用の道具が本機の、ノコ刃取付け周囲に接触しないことを確認してください。

- ノコ刃が材料に触れない状態でスイッチの引き金を引き、ノコ刃の回転が上昇し、回転が安定してからハンドルを静かに押し下げて、切断を始めてください。(図12参照)

- 材料を切り終わりましたらその位置でスイッチを切り、ノコ刃の回転が完全に停止してからハンドルを上げてください。

☑作業中は、1回ごとにスイッチを切りノコ刃の回転が停止したのを確認し、切断片を取り除いてから次の切断を始めてください。

☑目盛りは目安としてご使用ください。又、不用の材料でテスト切りをして角度を確認してください。

※本機は精度を要する切断には使用できません。

■角度切断(図13参照)

- ターンテーブルの角度切断目盛りに合わせ、左45度~0度~右45度の範囲で切断することができます。

- ターンテーブル固定ノブをゆるめ、ハンドルを持ち右、又は左にハンドルを振り任意の角度に合わせてください。

- ターンテーブル固定ノブを締め付けてください。

☑材料固定用の道具が本機の、ノコ刃取付け周囲に接触しないことを確認してください。

- 切断作業は、切断作業の項を参照してください。
- ☑目盛りは目安としてご使用ください。又、不用の材料でテスト切りをして角度を確認してください。

※本機は精度を要する切断には使用できません。

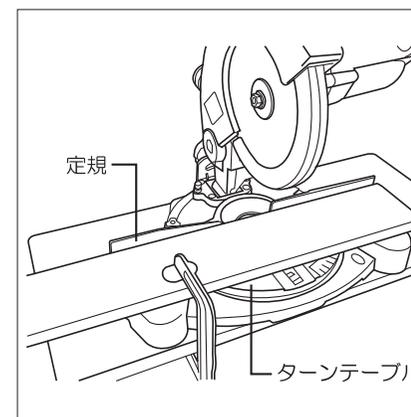


図11

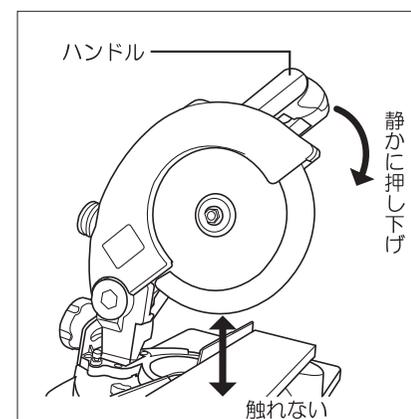


図12

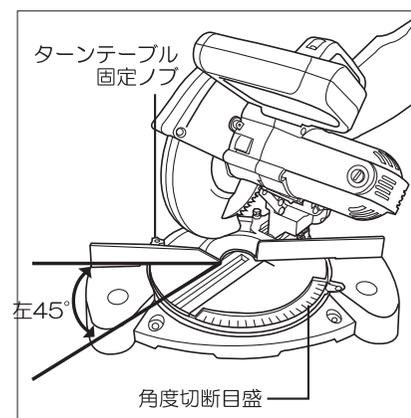


図13

■傾斜切断

- ノコ刃を0度～左45度まで傾斜させて切断することができます。
- ターンテーブル固定ノブをゆるめてください。
- 傾斜角度45度の切断では、テーブルの角度を左目盛り2度(約)の位置に合わせて固定してください。(図14参照)

☞ノコ刃の傾斜角度によりテーブルの角度は、左目盛り0度～2度(約)となります。

- 本機後部の傾斜角度固定ノブをゆるめ、本機を左に傾斜させます。(図15参照)
- 任意の傾斜角度に目盛りを合わせ、傾斜角度固定ノブを締め付けてください。

☞材料固定用の道具が本機の、ノコ刃取付け周囲に接触しないことを確認してください。

☞ノコ刃傾斜角度0度(直角)切断から傾斜切断に切り替えでは、連続して切断をせず、必ず切断寸法の取り直しをしてください。又、不用の材料でテスト切りをして角度、切断寸法の確認をしてください。

☞目盛りは目安としてご使用ください。

※本機は精度を要する切断には使用できません。

■複合切断

- ターンテーブルによる角度設定と、ノコ刃の傾斜角度設定の組み合わせによる切断です。
- 傾斜角度45度の切断では、テーブルの角度を右目盛り43度(約)の位置に合わせて固定してください。(図16参照)

☞傾斜角度によりテーブルの角度は違います。その都度調整が必要です。

☞材料固定用の道具が本機の、ノコ刃取付け周囲に接触しないことを確認してください。

- 切断作業は、切断作業の項を参照してください。

※本機は精度を要する切断には使用できません。

●切断例

ターンテーブルの角度	ノコ刃傾斜角度	切断できる材料
左45°	左45°	高さ19×幅40mm

☞ノコ刃傾斜角度によりテーブルの角度は、右目盛り45度～43度(約)となります。

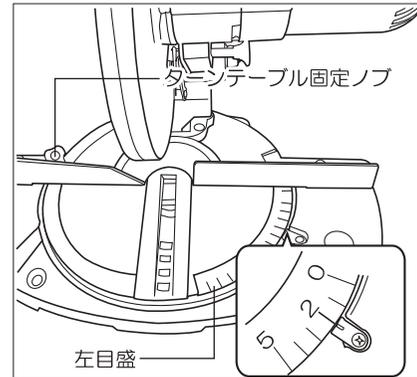


図14

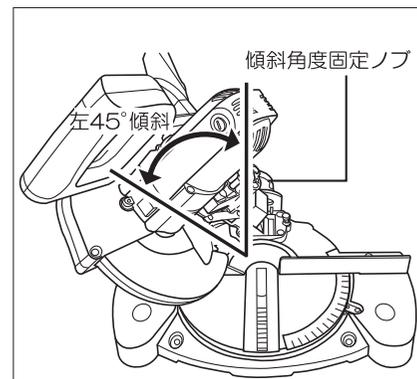


図15

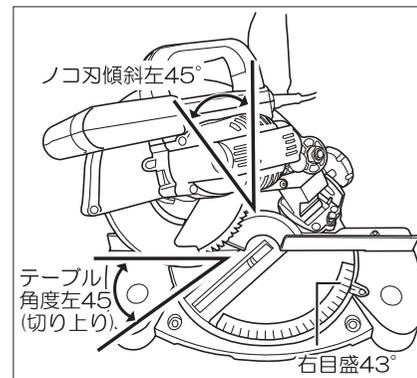


図16

保守、点検について

⚠ 警告

- 保守、点検では、必ずスイッチを切り差し込みプラグを電源から抜いてください。不意の起動により思わぬ事故の原因になります。

- 切断角度は出荷時に調整してありますが、万一、使用中に狂いが生じたときは、次の手順で調整してください。(付属の工具以外は、市販品の工具をご使用ください。)

■角度切断時の角度調整

- ①定規を固定している六角穴付ボルト2本を付属の六角レンチ(5mm)でゆるめてください。(図17参照)
- ②ターンベースの切断角度目盛り0度と、ベースの|部を合わせてください。(図18参照)
- ③ハンドルを押さえてストッパーツマミで固定し、ノコ刃の側面と定規にかね尺、または三角定規を当て、ノコ刃と定規が直角になるように調整してください。(図19参照)
- ④定規が動かないように注意して六角穴付ボルト2本を締め付けてください。

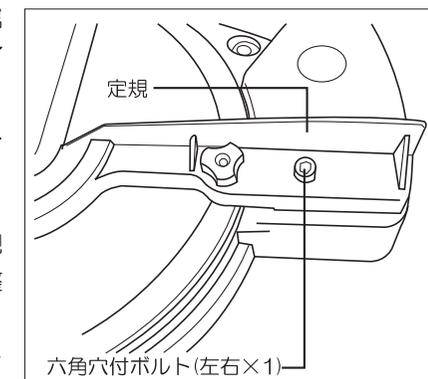


図17

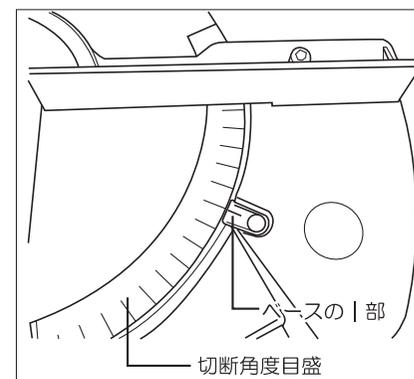


図18

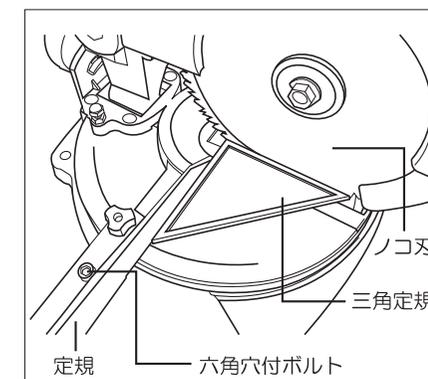


図19

■傾斜切断時の角度調整

●直角(0度)の調整

- ①アーム後部の傾斜角度固定ノブをゆるめて、本機を左方向に傾けてください。(図20参照)
- ②アームブラケット右側の直角位置調整六角穴付ボルトのゆるみ止めナットをゆるめます。(図20参照)
- ③直角位置調整六角穴付ボルトは、右に回すとノコ刃角度が大きくなり、左に回すと角度は小さくなります(図21参照)
- ④ターンテーブル面とノコ刃の側面に三角定規を立てて当て、ターンテーブル面とノコ刃の刃面が直角になるまで直角位置調整六角穴付ボルトを回して調整してください。(図22参照)
- ⑤直角になりましたら傾斜角度固定ノブを締めて本機を固定し、直角位置調整六角穴付ボルトのゆるみ止めナットを締め付けてください。
- ⑥アームの▼部と目盛りが一致していないときは、小ネジをゆるめて▼部を角度目盛り0度に合わせてください。

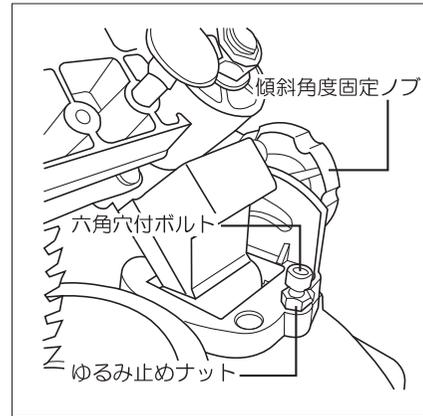


図20

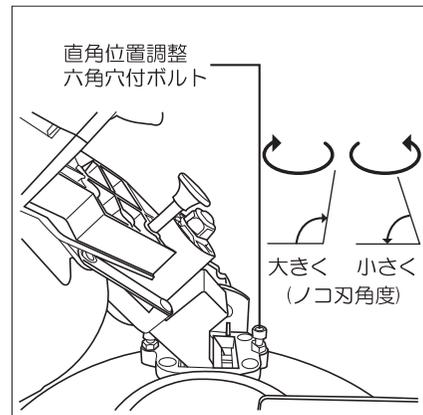


図21

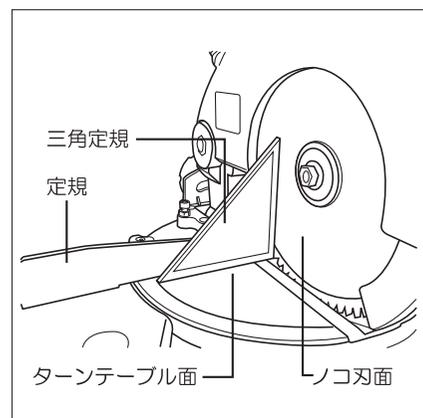


図22

●傾斜(左45度)の調整

- ①ターンテーブルとノコ刃が直角になったときに、アームの▼部が角度目盛0度に合っているかを確認してください。(図23参照)
- ②傾斜角度固定ノブをゆるめて、本機を左に傾斜させてください。(図24参照)
- ③アームの▼部と角度目盛45度が一致しているかを確認してください。(図24参照)
- ④▼部と角度目盛に狂いがありましたら本機を起し、アームブラケット左側の傾斜位置調整六角穴付ボルトのゆるみ止めナットをゆるめます。(図25参照)
- ⑤傾斜位置調整六角穴付ボルトを回し、ノコ刃を傾斜させたときに▼部が角度目盛の45度に合うように調整してください。(右に回すとノコ刃傾斜角度が大きく、左に回すと小さくなります。)(図25参照)
- ⑥調整がおわりましたら傾斜角度固定ノブを締めて本機を固定し、傾斜位置調整六角穴付ボルトのゆるみ止めナットを締め付けてください。

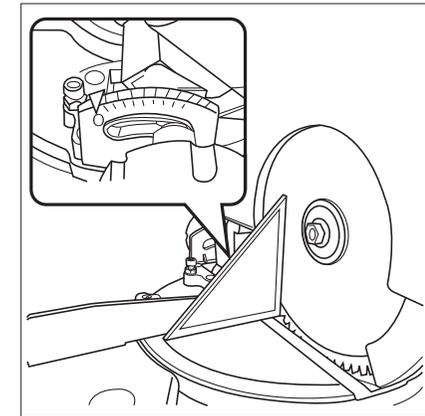


図23

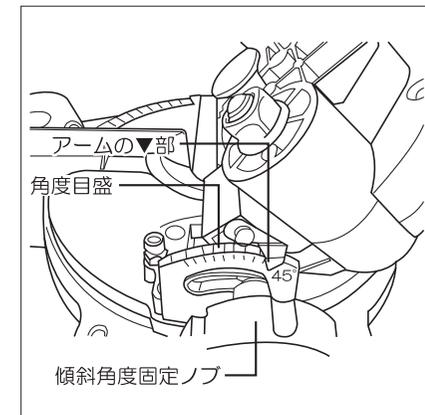


図24

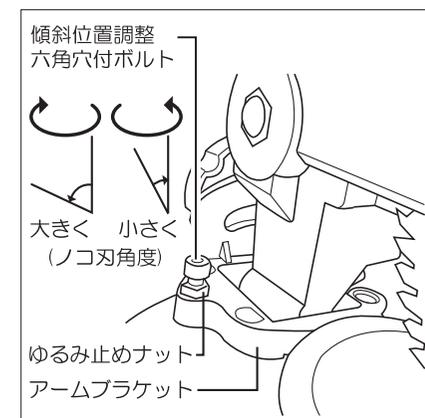


図25

■ノコ刃の下限位置の調整方法

- 本機は、外径190mmの丸ノコを基準にしてノコ刃の下限位置を調整してあります。
- アームの下にある安全カバー作動ステーの取付け六角穴付ネジを、付属の六角レンチ(3mm)で外してください。(P9図4参照)

☑六角穴付ネジを抜き取るとハンドルが上方向に全開しますので、ハンドルを押さえて飛び上がらないように注意して六角穴付ネジを抜き取ってください。

- 下限位置調整ボルトのゆるみ止めナットをゆるめ、下限位置調整ボルトを回します。右に回すとノコ刃は深く、左に回すと浅くなります。(図26参照)

- ノコ刃の外周が、定規とターンテーブルの上面の交差する位置より下がった位置にしてください。(図27参照)

- ゆるみ止めナットを締めて、下限位置調整ボルトがゆるまないようにしてください。
- 安全カバー作動ステーを取り付けてください。(P10ノコ刃取付け方法の⑥と図9を参照)

☑ノコ刃を取り替えたときは、ノコ刃がターンテーブルに当たることがありますので、ノコ刃の下限位置をご確認の上ご使用ください。

☑ハンドルを下げて、安全カバーが正常に作動することを確認してください。

■安全カバーの作動点検と保守

- 安全カバーは、ハンドルを下げると自動的に上がり、切り終わってハンドルを上げると元に戻ります。(図28参照)
- 安全カバーの作動が不完全のまま使用したり、故意に任意の位置で固定、又は、取り外ししたりのご使用は絶対にしないでください。
- 安全カバーは、いつも円滑に作動することを確認してご使用ください。
- 安全カバーが異常なときは、そのまま使用しないで修理に出してください。

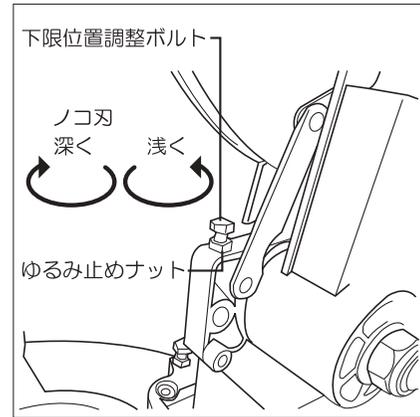


図26

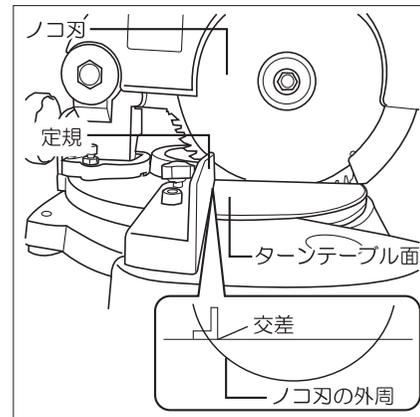


図27

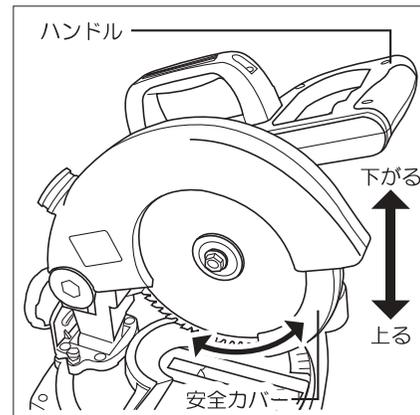


図28

■カーボンブラシの交換(図29参照)

- カーボンブラシは、時々取り外して点検してください。
- カーボンブラシは消耗品です。残りが約6mm位になりましたら交換してください。摩耗が大きいまご使用になりますと、モーター故障の原因になります。
- カーボンブラシは2個で一組になっています。交換の時は、必ず2個同時に行ってください。
- ⊖のキャップを左に回すとカーボンブラシを取り出すことができます。
- カーボンブラシをセットするときは、ブラシホルダに正確に差込み⊖キャップを締め付けてください。
- カーボンブラシの寸法 8.4×6×12mm(長さ)

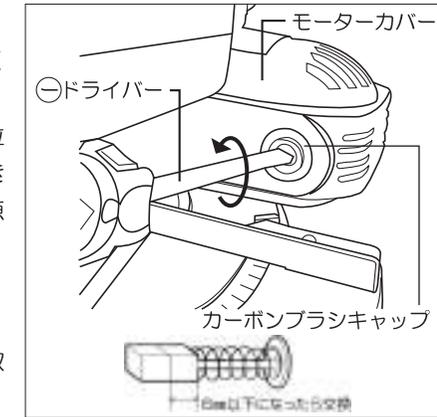


図29

■使用後の手入れ、保管について

- スイッチを切り、電源から差込みプラグを抜いてください。
- ターンテーブルなど本機に付着した切りくずを取り除き、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 湿気の少ない、お子様の手の届かないところに保管してください。
- 本機についてのお問い合わせ、修理等は、お買い上げの販売店、又は、当社までご連絡ください。